

## 平成27年度 第2回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成27年8月29日（土）18時30分～

玉川こども図書館 2階交流ホール

材木、味噌蔵町、此花、瓢箪（校下・地区）

### (1) 市長あいさつ

#### 【山野金沢市長】

皆さん、こんばんは。

本日は土曜日の夕方の時間、外出しづらい時間にも関わらずたくさんの方にお越しいただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

金沢アカペラ・タウン2015というイベントが、今日と明日の2日間開会し、私はオープニングセレモニーにも参加しましたし、その後幾つか公務がありましたが、合間を縫って金沢駅のもてなしドームの下でアカペラをしばらく拝見していました。駅の周りも少し歩きましたが、たくさんの方が歩いていました。

その後、東山ひがしにも行ってきました。青年会議所の皆さんが燈涼会というイベントをやっている様子で、そのイベントに参加しました。時間もありませんでしたので、その近辺を歩いてきました。たくさんの方がいらっやいました。

これは移動だけでしたが、兼六園近辺を車で移動しました。たくさんの方がいらっやいました。いずれも新幹線効果、もちろん大きなものがあるかと思いますが、たくさんの方にお越しいただいていますし、そのことを当て込んでなのかと思いますが、特に駅近辺に多くのマンションができているところでもあります。たくさんの方にお越しいただいて元気になるのはすごくいいことではあります。マンションができてたくさんの方にお住まいいただくこともすごくいいことではあります。

ただ、一方では、いろんな課題が出てきていると思っています。マンションやアパートが増えることによって、町会に関わっていただくマンションやアパートの方もいらっやいますが、なかなかご理解いただけないマンションやアパートの方もいらっやるともお聞きしています。

今日も課題が出ていますが、地域コミュニティについても、これからの大きな課題になってくるかと思っています。

また、材木、味噌蔵町小学校の統合にあたり、先般、正式に調印をさせていただきました。来年の4月から小学校が統合します。地域の皆さんが、今日も材木地区のお父さんの会が学校でお化け屋敷大会をします。そこに味噌蔵校下の方たちもたくさんいらっしゃるということをお聞きいたしました。地域の統合に合わせてコミュニティをより緊密にしていこうという動きが出ていること、大変好ましいことだと思っています。けれども、統合することによっていろんな課題もあるとも思っています。

限られた時間ではありますが、今申し上げたことに関連したテーマも出てくるかと思えますし、それ以外でもいろんなご意見があると思えます。この後、最後に、レジュメで言えば(6)に討議とありますが、今日いただいたご意見以外でも時間の許す限り皆さん方からいろんなご意見をいただければと思います。ここですぐお答えできるものもあれば、1回持って帰って市役所の中で確認をした上でお答えをすることもあるかと思えます。皆さんが納得いただけるお答えをすぐできることもあれば、皆さん方からすればもう少し話し合いを重ねたほうがいいのではないかというご意見もあるかとも思えます。率直な意見交換の場にできればと思っています。本日は本当にありがとうございました。そして、よろしく願いいたします。

## (2) 地域代表あいさつ

【瓢箪地区会町会連合会 会長 中崎 龍雄 氏】

改めまして、皆さんこんばんは。

きょうは、材木地区、そして味噌蔵校下、此花地区、そして瓢箪地区と、4地区校下の皆さんと市の協働ということで、「ともに考えよう まちづくりミーティング」というタイトルですが、市長さんが先ほど私が考えてきたことを全て言ってしまいましたので、言うことがあまりありません。

私も瓢箪地区に転居して65年ほど経つのですが、その頃と今では本当に天と地ほど違います。昔、私の町内は瓢箪町商店街と言われたほど、いろんな職業の方がたくさん暮らしていました。今は、もうほとんど閑散として、住宅街になっております。

この今の4地区に共通して少子高齢化、それに伴って高齢者のみの世帯、それからひとり暮らしの世帯が本当に増えています。ちなみに、私も高齢者世帯です。

それと、空き家が増えてきました。そういう共通した問題、またそれとは別に各地区、校下の諸問題もあると思います。貴重な時間を皆さんでお話し合いしていただければと思

います。ありがとうございました。

### (3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

#### ①地域変化に対応し、安心・安全な明るいまちづくりの具現化（材木）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、  
レジュメを参考願います。

#### 【山野金沢市長】

町会のことですが、実は、この町会加入のことは全市的な課題だと思っています。局長が答えましたように、『かなざわ生活ページ』の中に町会に入りましょう、というパンフレットを入れて、新たに転入された方に説明をさせていただいているところです。局長や課長、また担当者ともきちんと相談をさせていただければと思いますが、より丁寧な形で町会加入を、転入届を受ける段階で説明をするというソフト的な施策をもう少し工夫していくことによって、その必要性をご理解いただくことができないかとも思っているところでもあります。無理やり入らなくちゃいけないというものでもないだけに、丁寧な説明、誤解のないような説明が必要ではありますが、いま一度、転入届を受ける段階での説明の仕方を工夫できないか、市役所の中で研究させていただくことでご理解をいただけるよう取り組んでいきたいと思っています。

#### ②民間が制作した「地域企業の広告地図」立看板について（味噌蔵町）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、  
レジュメを参考願います。

#### ③金沢駅周辺の安心安全について（此花）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、  
レジュメを参考願います。

#### ④地域の高齢化（瓢箪）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、  
レジュメを参考願います。

#### (4) 共通課題について討議

##### ①共通課題「若い世代が参加しやすいコミュニティづくり」

(材木、味噌蔵町、此花、瓢箪)

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

#### (5) 質疑応答

##### 【山野金沢市長】

具体的な例を挙げながら少しお話をさせていただければと思います。具体的な町の名前を挙げます。森本のもうちょっと山側、富山県側に東原地区という地区があります。ここはNPOの方が入られまして、そのNPOのリーダー、彼は40ちょっと過ぎだと思えます。恐らく、最初に関わったときはまだ30代後半じゃなかったかと思えます。そのNPOの方たちがいろいろ学生さんを巻き込んで東原地区を元気にしていこうということで、さまざまな活動をしています。朝市なんかもより活発にするようになりまして、すごくわかりやすい例を言えば、僕に連絡をしてきて、僕もその行事に何回か顔を出させていただいたりもしています。学生さんをうまく巻き込んでいますので、その活動の流れの中で学生さんがとうとう住むようになりまして。その女子大生の方は今OLの社会人としてお住まいになっています。友達がいるので、学生さんが集まってきます。

いろんなまちづくり、朝市も含めたイベントでは、NPOの方もそうですし、NPOの関係で来た学生さんもそのイベントに直接関わっています。僕も行っていますが、若い方たちはたくさんいろんな仕切りをしています。イベントだけではなく、今申し上げたように、実際にもう住んでいる方もいるくらいですから、日常的な形でその地域の皆さんといろんな活動をされています。

NPOの方も頑張っていますし、よりたくさんの方に若い方に住んでもらえるようにしていきたいと言っていますので、ここは僕も期待していますし、参考にもなるのではないかと考えています。

もう一つ。内川校下に新保町という町があります。世帯数で言えば4世帯、5世帯じゃないかと思えます。お住まいになっている方も十数人、20人いらっしゃるかと思えますが、ここもNPOの方が入られまして、いろんな活動をされています。ただ、ちょっと違うのは、今はまだイベントとしてのおつきあいが中心のような状態です。

で、幾つかイベントがあり、それも僕は何度か声がかかって足を運んでいます、それは活発にされています。汗をかいている人は結構若い方、学生さんではありませんけれども30代、40代の方もいろいろ関わりながらされていらっしゃる場所でもあります。ただ、なかなかNPOの方たちもしんどいということはおっしゃっていますので、我々もこれから何年この活動ができるかわからないので、一つの大きな踊り場でもあるし、転機を乗り越えて、より元気にしていきたいとおっしゃっていました。

3つ目は大野町。金石港のもうちょっと先の大野町ですが、ここは既に何人かのリーダーがいました。リーダーがいろんなことに取り組んでいらっしゃるときに、やはり外から来た方、若くないと言ったら怒られますが、それでも40代だと思いますが、大学の先生です。金沢大学の先生が大野町をすごく気に入って、ここは金沢の隠れた魅力があるところだということで、その先生が中心になって、もともといらっしゃるリーダー的な方たちと色々なアイデアを練っています。色々なアイデアを練っていて、まだその最中なので今皆さんの前できちんとお話できるものばかりでもありませんが、町を元気にしようとして取り組んでいらっしゃいます。ここは、僕は期待していきたいと思えますし、市としても協力できることは一生懸命協力させていただきたいと思っています。

今、3つの町の例を挙げましたが、共通していることが一つあります。外の血。大野町はもともとリーダーの方がすごく元気なことをしていましたが、外の血が入ることによってある種の化学反応を起こして、よりパワーアップした形になってきています。東原地区のご年配の方と話していると、あと5年早く、あのNPOの方たちとのおつきあいができていればもっと違う展開が期待できた、と。でも、今からでも色々な展開が期待できるから一緒にやっていく、とおっしゃっていました。是非、その外の血というのが必要だと思います。

今、この3つの町は、僕は一人一人に確認したわけじゃありませんが、たまたまだと思います。そんな、たまたまを待っていたらいつになるかわからない。わからないので、先ほど味噌蔵の育友会の会長さんのときにも市民局長がお答えをしましたが、今、思いを持っている方が何人もいます。まちづくりに関わりたい、まちを元気にしたいという思いを持っている方は何人もいるけれども、どうすればいいかわからないという方もいます。僕らもそんなニーズをしっかりつかんでいますから、まちづくりファシリテーター講座というものを開いて、そういう思いのある方に色々なヒントもつつきながら、知識を持ってもらいながら講座を開いているところでもあります。僕はおそらくこの中から今言ったよ

うな、外の血としてそれぞれの地域に活力を与えてくれる方が出てくると思っています。

地域の方をお願いをしたいのは、そんな方が来てくれればいいな、ではなくて、先ほど市民局長が言ったように、もう始まっていますけれども、オブザーバーとして出席していただくこともできます。皆さんの中からオブザーバーとして関わってもらうことによってヒントをもらって、そこからいろんなことができるかもしれません。また、その中で人間関係ができていく中で、私たちの地域と一緒に力を貸してくれ、ということも十分可能だと思いますので、そういうことも是非、していただければと思っています。

もう一つ、身近な例を挙げます。学生さんだけでもないのですが、雪かきボランティアというものを数年前から金沢市はやっています。幾つかの町会や地域の方たちといろんな大学、もしくは大学のサークル、大学のゼミの方たちと雪かきボランティアの協定を結んでもらっているところが幾つかあります。1年に1回総会みたいなのがあります。僕はいつも行きます。ああ、そうかと思うことがあって、その町会の方からすれば、雪がたくさん降った、困ったな、じゃ協定を結んでいる学生に頼もうと。学生に電話して、初めまして、何々町会の何々と申します。雪が積もったので雪かきに来てくれませんか。学生さんが来てくれます。そこで名刺交換して頼みます、というわけにはいかないだろうと。協定を結んだのだから、町会のバーベキューパーティーがある、町会のお祭りがある、校下の盆踊りがある、校下の社会体育大会がある、そんなときにその協定を結んでいる学生さんに声をかけようと。来てもらうんです。雪かきボランティアの協定かもしれませんが、学生さんが来てくれて、バーベキューを一緒にしたり、社会体育大会にその町会の一員として関わってもらったり、地域のお祭りに来てもらって、その学生さんにもお祭りで汗をかいてもらったり、お祭りを純粋に楽しんでもらったり。そうしていく中で、今年雪がたくさん降りましたと。電話をしました。この間、バーベキューに呼んだからというわけじゃないけれども、力を貸してくださいと。あ、わかりましたと。そういう形で来てくれることになってきます。

ですので、雪かきボランティアは一つのきっかけにすぎなくて、そのきっかけをもとにして積極的に声をかけていくことによって若い方たちの力を借りる、結果として借りるということもできるのではないかと思いますし、地域のいろんなイベント、行事につながってくるのではないかとも思っています。

雪かきボランティアというのは今言ったように一つのきっかけです。我々行政もそんなきっかけをつくることを、いろいろアイデアを出して考えていきたいと思っていますの

で、皆さんからもいろんなアイデアを、この場に出していただければ結構ですし、この場じゃなくても結構です。いろんな場面でいろんなアイデアをおっしゃっていただいて、今度はそのアイデアを実行に移さないと、意味がないとは言いませんけれども、より大きな効果を期待するためにも実行に移していきたいと思います。あとは限られた時間でもありますが、そんなアイデアやいろんなご意見を聞かせていただければと思います。

#### 【山森広報広聴課長】

先ほどは、金沢がもっと魅力のある町となるために、どういったことに取り組んでいけばいいかというようなご趣旨のご発言だったと思いますが、具体的にはどういった分野でということをございましょうか。

#### 【材木地区町会連合会】

新幹線が通りまして、非常に金沢は全国的に脚光を浴びています。

それでまちづくりですが、今は旅行雑誌などで京都と対等に評価されています。東京、京都、金沢ぐらいのネームバリューのあるような都市にするには何がいいか、少し考えていただきたいと思います。日本の中でも東京から来られる人はみんな東山に行って、いい町だ、心が癒されるという感想をよくお持ちです。だから、そういうことを考えながらどういうまちづくりをすればいいか、少し協議していただければよろしいと思います。前向きな話を聞きたいと思います。

金沢駅のもてなしドームに、みんなすごく感心するんです。今、借金が幾らあるのか知らないけれど、鼓門も感心するんです。それに21世紀美術館。あんなもの金沢に向かないのではないかという意見もあるが、すごく入場者が多いです。特に異質なもののね。東山地区も整備されました。

県知事はまた違うことを考えて、たとえば、しいのき迎賓館をつくったり、あの辺を公園にしたり、金沢城をつくって、今度橋をつくるような感じです、意識的に。他から来ても魅力あるまち、そういうのをもうちょっと積極的に考えていただきたいんです。日本では名前が知れましたから、今度はアジアだとか世界に打って出られるような、中国から小松空港か能登空港か知りませんが、直接的に来ることができる魅力あるまち。東京の人は新幹線で大分来ていますから。

### 【山野金沢市長】

魅力あるまちは大切だと思っています。

大切なことは、今新幹線がつながりました。飛行機であったり金沢港であったり、交通アクセスがすごく良くなってきました。アクセスが良くなってきただけに、なおさら気をつけなくちゃいけないこと、なおさら魅力を高めるために大事なことは、僕はやっぱり徹底して金沢の個性、石川県の個性、魅力、強みに徹底的に磨きをかけていくことだと思っています。

大事なことは、僕、先ほど外の血が入って化学反応が起きたと申し上げましたが、これまでの歴史、伝統、文化を後生大事に守っていただけだと必ず廃れると思っています。そこに常に刺激を与えていくことが必要です。でも、基本は、やはり金沢の個性を大切にしながら、その個性の中に刺激を与えていくことによって化学反応が起きてくるんだと思っています。

21世紀美術館は、いろんなご意見があるかもしれません。ただ、やはり、アートであり、新しい金沢の文化に刺激を与えている部分でもありますので、私は意義があったと思っています。いろんなご意見を真摯にお聞きしながら、県ともきちんと連携しながら県の施策、金沢市の施策の方向性をちゃんと合わせながら取り組んでいるところでありますし、県も全く同じ思いで取り組んでいくところでありますので、さらにこれからもブラッシュアップをしていきたいと思っています。

### 【味噌蔵町校下町会連合会】

先ほど全体の共通課題、若い世代の参加しやすいコミュニティづくりという話ですが、私の今日思った感想として、味噌蔵地区も高齢化が進んでおまして、若い人が少ないということでNPOとか学生さんが社会体育大会とかいろいろお手伝いに来てくれているんですが、私は、その前にもっと地域の若手が出てこいという思いがあったんですね。そういう方に頼るのもいいけど、それ以前にまだ地域に若い人がいるんじゃないかと。そういう思いで親父の会とかをつくってやりだしたんですが、今日、お話を伺っている中で、そういったNPOとか学生の方が地域を盛り上げてくれることによって地元の若い人がもっと参加しやすくなったり、出てくる機会があるのかなというのを感じることができましたので、きょうはこの会に来て一つ収穫ができたかなと思っています。ありがとうございます



いました。

**【此花地区町会連合会】**

今日は福祉局長も来ていらっしゃるので、地域の高齢化に関してお聞きしたいと思います。今日の午前、テレビを見ていたら、病院で地域包括支援病院というのを厚労省の方針でこれから増やしていくという説明がありました。

というのは、高齢で病院に入院なさって、ある程度治療して回復しているが、普通なら今まで入院治療を続けるのを、在宅介護で治療していくという方針にだんだんなるそうです。それに関して、入院治療をして、たとえば、胆嚢の管をぶら下げるのを自宅で続けてやらなくちゃいけないと。そのご子息がうちへ帰ってもすぐにそういうのができないので、それまで慣れる意味合いもあって、病院で教育を受けて自宅で介護を続けるという説明でした。金沢市の場合はそういうものができているのかどうか、これからできるのか、ちょっとお尋ねしたいと思います。

**【平嶋福祉局長】**

地域包括の支援病院、病棟という言い方をする場合もありますし、その番組の状況が把握できていないのでわかりませんが、ある病院に新たに地域包括のための支援病棟というものをつくっているところも出てきています。

これは通常の病院よりも、たとえば、看護師さんの配置を緩くする。そして、どちらかというと病気治療メインというよりは、家へおかえしする、それまでの間をどうケアしていくか。そこできちっとケアをして自宅等々へおかえしする、その中間的な看護をするための病棟ということをやっています。

金沢市立病院にも昨年からそういった病棟を設けて実施をしています。

それから、今ご指摘のように、国全体の施策が介護を必要な方々の入所福祉から、どちらかというと在宅福祉のほうへ舵が切られてきています。それは社会保障費が非常に増大していて、今後のことを考えたときに何とか地域の中で住み続けられるような仕組みをつくっていきたいということで、金沢市も構想をつくりまして、具体的な取り組みに今年度から入ったということです。そうすると、大事なことはご家庭での医療をどうするかというのが非常に大きなキーワードになっています。今、金沢市でも診療所あるいは個人のドクターで在宅医療を中心に展開しているお医者さんが最近増えています。そういった地区

では、介護と医療をうまく連携をし、訪問看護なども使いながら看取りも含めて在宅でできるだけ住み続けていただけるような取り組みが今始まったばかりで、金沢市として今年度から検討会を立ち上げました。今、専門家の皆さんも入っていただいて、あるいはご家庭で実際に看護していらっしゃる方にも参画していただいているいろいろ検討を始めたというところでございます。

まさに10年後、団塊の世代の方々が75歳を迎えます。一般的に介護が必要になるその一つの境が75歳という、これは医学的な統計データの中ではっきり出ていまして、それに向けて市としても包括的な支援のためのシステムを構築していきたいと思っています。そのためには各地区の民生委員さんを始め町会の皆様方、そしていろいろな福祉資源をいかに活用して支援していくかと取り組みを一生懸命やっている最中でございます。

#### 【味噌蔵町校下町会連合会】

若い世代が参加しやすいコミュニティづくりということですが、今、新幹線効果で他の県から若い世代が多く金沢を訪れて素晴らしいまちだと感じたとしても、金沢で住もうかな、という気になるようなまちづくりを進めていただきたいし、金沢にも優秀な学校があります。4年間金沢で生活して、何といういい町だと。私たちも金沢で生活をしていきたいと思うには、魅力ある企業を誘致し、また学生さんが地元で教育者として働いていくというような筋道を立てないと、地元の若い者も働く場所がなければ県外へ出て行くわけですので、そういった面で、魅力ある金沢市をつくるのであれば、企業誘致も積極的に進めていただいて、若い人たちが働ける環境づくりの努力をしていただければありがたいなと思います。

#### 【相川都市政策局長】

おっしゃるとおりでございます。人口動態の関係を見ていくと、若い方々にとって大学がたくさんありますので、若い世代の流入、金沢市以外から来る方はたくさんいるという傾向にあります。こちらに来る若い方が首都圏や関西圏に憧れて出て行く比率も、これまた高い比率がございます。

それと、加賀や能登方面から金沢市、あるいは富山県の近郊から金沢市、その動向も数字的にはそのように出ていますが、今、おっしゃられたとおり、学術文化、特に金沢大学を中心とした学生の方々について、大学でも地元はどうやって就職していただくか、とい

うことを自治体と企業と連携する事業を始めてまいりました。そのことをつなげていくためには、やっぱり職場が大切であるし、こちらに学生の方が魅力を持たれていることについては、生活環境や伝統工芸などの魅力ある手仕事であるとか、関心を持つ範囲は広いと思います。そのことをどうやってPRして職場につなげていくのか。それがこれからの課題でありますし、金沢の魅力でもあると思っています。大型企業の誘致にも力を注いでまいりますが、金沢の魅力を失わないような仕事づくりについても学校と協力しながら、また地域の皆様方、特にいろいろな技術をお持ちの方がたくさんいらっしゃいますので、その方を生かす施策を頑張りたいと思っています。

## (6) 市長まとめ

### 【山野金沢市長】

本日はたくさんの方にお集まりいただき、本当にありがとうございました。8時半までおつきあいもいただきました。御礼を申し上げたいと思います。

最後の質問に対する答えの補足も含めて、ご挨拶をさせていただきたいと思います。

今から10年ちょっと前、私は、今パナソニックに社名が変わりましたが、松下電気産業の相談役の方のお話を聞く機会がありました。十数年前で、これから企業がいろんなところに進出するにおいて、3つ大切にすると。

1つ目は情報インフラ。交通インフラは、もう十数年前の段階でしたけれども、相当日本は充実してきている。今、金沢は新幹線が通じてなおさらそうになりました。でも、これからは情報インフラが大切になってくる。情報インフラが充実しているかということが、企業が進出してくる大切な要素になる、とおっしゃられました。大変印象に残っています。

ただ、現在、情報インフラの充実ということに関して言えば、おそらく東京も金沢も北海道も九州もほとんど差はないと思っています。情報の差はありますが、情報インフラの差はほとんどないと言っても過言ではない。過言どころか、誰もがご理解いただけると思います。1つ目が情報インフラ。

2つ目は、優秀な若い人材を輩出する素地があるかどうか。

もう十数年前の段階から近い将来日本では人手不足になるであろうということを大企業でしたからもう見抜いていらっやっただのだと思います。優秀な若い人材が輩出する素地があるかどうか。僕は、これは石川県、金沢というのは間違いなくあると思っています。高等教育機関が人口密度では最も多いのが金沢であります。特に理系で言えば、金沢工業

大学もあります。金沢大学の工学部もありますし、金沢からちょっと離れるかもしれませんが辰口には大学院大学もあります。優秀な若い人材を輩出する素地は、金沢は間違いなく恵まれていると思っています。

そして3つ目、これが一番大切だとおっしゃっていました。快適な生活空間が確保できているかどうか。24時間会社にいるわけじゃない。生活するとなるとご家族がいらっしゃる。家族全員が松下電気産業で仕事しているわけじゃない。ご主人、もしくは奥様が仕事をしていらっしゃる。子供も学校に行く。子供もいろんなところに就職をする。仕事は頑張るけれども余暇の時間、もちろん病院や学校も大切ですがけれども余暇の時間も必要になってくる。そういう意味では快適な生活空間がどれだけ確保できるかということもこれから企業が地方に進出する際の大切な要素になるとおっしゃっていました。十数年前ですが、僕は今でも当てはまると思いますし、今だからこそ、なおさらその視点というものは大切になってくると思っています。だからこそ、金沢市、石川県は、日本全国どこもそうだと思いますが、そのことについて格段に意を用いてきたとも思っています。お一人お一人のご意見を聞けば、まだまだ物足りない部分もあるかとは思いますが、金沢は都市としてみれば、僕は快適な生活空間を相当部分、確保できているのではないかと思っています。

ただ、一つ一つ見ていけば、いろんな課題もたくさんあります。一つ一つの地域の中でも、今日お聞きしただけでもいろんな課題がありますので、その課題にできる限り行政と皆さんと意見交換をしながら取り組んでいくことがより快適な生活空間を提供できることになるんだと思っています。

今日は限られた時間であったということと、やっぱりここでは発言しづらいという方もいらっしゃると思いますので、アンケートにいろんなご意見を書いていただければと思いますし、市役所にもお越しいただければと思います。それもしづらいという方は、僕は自分のホームページもフェイスブックもツイッターもメールも完全オープンにしていますので、もしみんなの前で言いづらいことがあるようでしたら、市長にも面と向かっては言いづらい、電話して言いづらいことがあるようでしたら、そういう形ででもご意見をいただいてよろしいかとも思っています。

繰り返しになりますが、100%皆様方にご満足、ご理解いただけるような答えばかりではないかもしれません。真摯に受けとめて、真摯に対応させていただければと思います。

本日は本当にありがとうございました。